

理事長挨拶

緊急事態宣言の中、2021年がどのような年になるのでしょうか。医療法人篠原湘南クリニックの立ち位置を再確認し、抱負を各部署から述べさせていただきます。



いま日本が直面する少子高齢化による人口減少社会が、あらゆる分野に人手不足という難題を持ちかけています。団塊の世代が後期高齢者に突入する2025年問題が語られて久しいです。私たちの領域でも、国策である「地域医療構想」すなわち病床の機能分化、在宅医療を中心とした「地域包括ケアシステム」、医療者の健康を守る「働き方改革」は、医療介護の人材不足と人材育成をサポートするという視点に立っています。さらに重要課題である人生の終末期を語る際のACP(人生会議)への取り組み、認知症対応、その他まだまだありますが、すべてがコロナ対策最優先の前に一時休止を余儀なくされています。

神奈川県は「ダイヤモンドプリンセス号」以後、常に第一線で戦っています。私たちもワクチンという光を励みにもうひと頑張り致します。

令和3年1月
理事長 篠原裕希